

山行報告書

報告書作成

2005年8月24日

山名 [山域]	コクイ谷、黒谷、(御在所岳)	目的と方法	沢歩きを楽しむ、沢登り
登山期間	2005年8月20日(土)	山行形態	周回
参加人数	3名		

行動記録

8月20日(土) Kさん宅6:00===R23===裏道P8:10---藤内小屋9:00,9:10---藤内壁展望場所9:50,10:00---
上水晶谷---愛知川出合12:10,12:40---杉峠分岐1:10---コクイ谷---黒谷出合1:50---御在所岳5:40:6:20
---表道---スカイライン---裏道P8:30===岡崎着11:00

概念図



日誌

8月20日(土) 曇り時々晴れのち一時雨

名古屋を過ぎた頃雨が降り出したが西の空は明るい、山の天気は気になるが、雨はまもなくやんだ。裏道Pに着いた時は曇りでかえって歩き易いと思った。藤内壁を眺め休憩をとる、国見峠である上水晶谷の入口は笹におおわれ藪こぎだったが、それもすぐに終わった。谷筋を下ってる時はよかったが道がわかりにくい所などあり愛知川の出合には

20分ほど遅くなった。出合でお昼の休憩をとり沢にはいる。ここは広くて明るい、水もこちよ。杉峠分岐よりコクイ谷になるが谷もせまく急になる。大きな滝の所で高巻きになりザイルで確保して谷におりる。この時急に雨が降りになりカッパの上着をきる。リ-ダ-が先頭で安全を確認しながら誘導して下さり私達は指示に従い懸命にのぼった。ザイルを出したり収めたりで手間と時間がかかって申し訳ないと思ったが、一つの手間がいかに安全で確実につながるかという事を教えていただきました。上流部になつて雨もやみ谷より離れ林の中にはいるとしるしが所々に見つかる。長者池の方をさけ笹と灌木のなかに突入する。出たところが、御在所岳に通じる遊歩道であった。なんと歩きやすいことかと思わず歓声が上がった。人一人いない広場で着替えをし下山する。予定の一の谷新道を下り始めたが笹でみちが判り難く20分程ロスになったが引き返し表道に変更した。時間は気にしなくてもいいからとの指示でゆっくり安全を第一に心がけ下山した。

今回は沢歩きと沢登りの講習と言う事ですが装備とコ-スなどの点でも、かなりハ-ドになると考えていました。けれどあまりつらい難いと思わず、むしろ楽しいと感じました。ひとつずつクリア出来たのも暖かい御指導とお力添えくださった方のおかげと感謝いたします。